

仙台市立大沢小学校 学校だより



沢っこ No.5

<https://www.sendai-c.ed.jp/~oosawael/>

〈R4 協働型学校評価〉

心身の健康に興味を持ち、めあてに向かってがんばる子ども

令和4年7月20日発行



全校児童275名
(6月2日現在)

TEL 394-2224

充実した夏休みを！

明日から35日間の夏休みが始まります。1学期の前半が終了したことになります。本日、夏休み前の朝会をTV放送で実施し、校長から運動会や沢小まつりでの子供たちの頑張りについて触れ、「すすんでチャレンジ!」「みんなのためにプラス1!」を合い言葉に、みんながんばりましたね、と話しました。また、夏休みも自分の力を伸ばす良い機会です。進んでチャレンジすること、家族や地域の方々のために、お手伝いや役立つことをプラス1!でやってみましょうと伝えました。ぜひ、ご家庭でも話題にし、取り組ませていただきますよう、よろしく願いいたします。



4月からの4か月間、学校ボランティア防犯巡視員(沢っ子見守り隊)の皆様、1年生の生活・学習サポーターの皆様、読み聞かせや体力・運動能力調査、沢小まつり等、様々なボランティア活動に参加いただいた皆様には、子供たちの登下校の安全や学校での教育活動を支えていただきました。ありがとうございました。夏休み明けも、子供たちへの励ましや見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

たくさんの応援をありがとうございました! ~運動会~



6月25日(土)、晴天の下で運動会を実施しました。昨年度は、出番の学年以外は教室待機の形で実施しましたが、今年度は全校児童が全員で各学年の種目を応援できるよう、全校一斉に行いました。当日、5、6年生は、放送進行や準備、審判等の運営の仕事に取り組み、学校行事を支える立場として大活躍でした。

暑さが心配される日でしたが、十分に水分補給したり、競技前にエアコンの効いた控え室で休憩したりしながら、子供たちはカー杯走り、堂々と踊る姿を見せてくれました。応援にお越しいただいた

ご家庭の皆様にはたくさんの拍手と応援をいただいたことで、子供たちもそれに応えようと頑張りました。大きな励みになったことと思います。大変ありがとうございました。

また、運動会後には児童いすの足拭きボランティアを募ったところ、たくさんの方々にお力をお貸しいただき、短時間で後片付けを終えることができました。急なお願いだったにも関わらず、快くご協力いただきましたことに、感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

水泳学習、楽しかったです！

今年度の水泳学習は、広瀬体育館の指導員の方を講師としてお招きし、授業を実施しました。子供同士の間隔を空けることや、しゃべらないことなど、感染症対策を十分に講じた上で、学習に取り組みました。6年生には1年生が初めてプールに入る際の補助として、手伝ってもらいました。楽しみながら安心してプールに入る1年生の姿が印象的でした。



補助員の先生方には、泳ぎだけではなく、水中での安全確保や命を守るための行動など、専門的な視点からも指導していただきました。子供たちにも教員にも、貴重な学びの場となりました。



大盛り上がりでした！～沢小まつり～



7月8日(金)、子供たちが待ちに待っていた「沢小まつり」を行いました。今年度も昨年度に引き続き、密集を避けるため、教室・体育館に加えて校庭にも出店する形を取りました。

3年生以上の子供たちが思い思いの意見を出し合い、みんなが楽しめるお店を目指し、それぞれに工夫を凝らしたお店を開きました。目をキラキラさせながらお店を回る子供たちや、一生懸命にお客さんを楽しませようとする子供たちの姿があちこちで見られました。いい思い出ができた1日になったことと思います。

また、今年も多数の保護者ボランティアの皆さんにお越しいただきました。それぞれのお店の見守りや励まし、密集を避けるようお声掛けいただくなど、祭り全体を陰から支えていただきました。大変ありがとうございました。



大沢のこと、教えてください！～3年生・総合～

7月12日(火)、3年生の総合的な学習の時間に、地域から連合町内会長の伊藤様、上町内会長の庄子様、元・中区町内会長の岩渕様、元・下町内会長の佐藤様をお招きして学習を行いました。

3年生の総合の学習テーマは「わたしたちの大沢」です。自分たちが住む大好きな大沢のことをもっと知り、大沢の自慢を考え、伝えることが目標です。この日は「大沢のことを知る」ことを目的に、4名の方から大沢の土地の歴史や自然、動物、昔の遊びなどについて、お話をいただきました。子供たちはイノシシの話や川遊びの話など、驚きの声を上げながら真剣に話を聞き、たくさんメモを取っていました。貴重なお話をいただき、大変ありがとうございました。今後の学習に生かしていきます。



夏休み中の学校閉庁日は8月10日(水)～16日(火)です。

※閉庁期間中は学校の電話はつながりません。緊急の連絡が必要になった際は、警察や消防、救急、医療機関や関係機関の相談窓口(別紙参照)に連絡ください。これ以外の連絡や相談については、仙台市教育委員会教職員課(214-8872・8873)に連絡ください。

学校・家庭・地域で取り組む 協働型学校評価の目標について

本日、令和4年度の学校要覧を配付させていただきました。教育目標を「健康で、創造性に富み、心豊かでたくましく生きぬく子供の育成」とし、「相手のことを考え行動できる子」「進んで学び、自分の力を伸ばそうとする子」「進んで運動し、心と体をきたえる子」を目指す子供の姿として、目標の達成を目指す取組を行っています。

大沢中学校区（大沢小学校、川前小学校、大沢中学校の3校）では、令和4年度の学校・家庭・地域の三者が連携して取り組む「協働型学校評価」の到達目標を次のように設定しています。

大沢中学校区の「協働型学校評価」の到達目標 「思いやりの気持ちをもって関わり合おう」

そして、大沢小学校の令和4年度の重点目標を次のように設定しました。

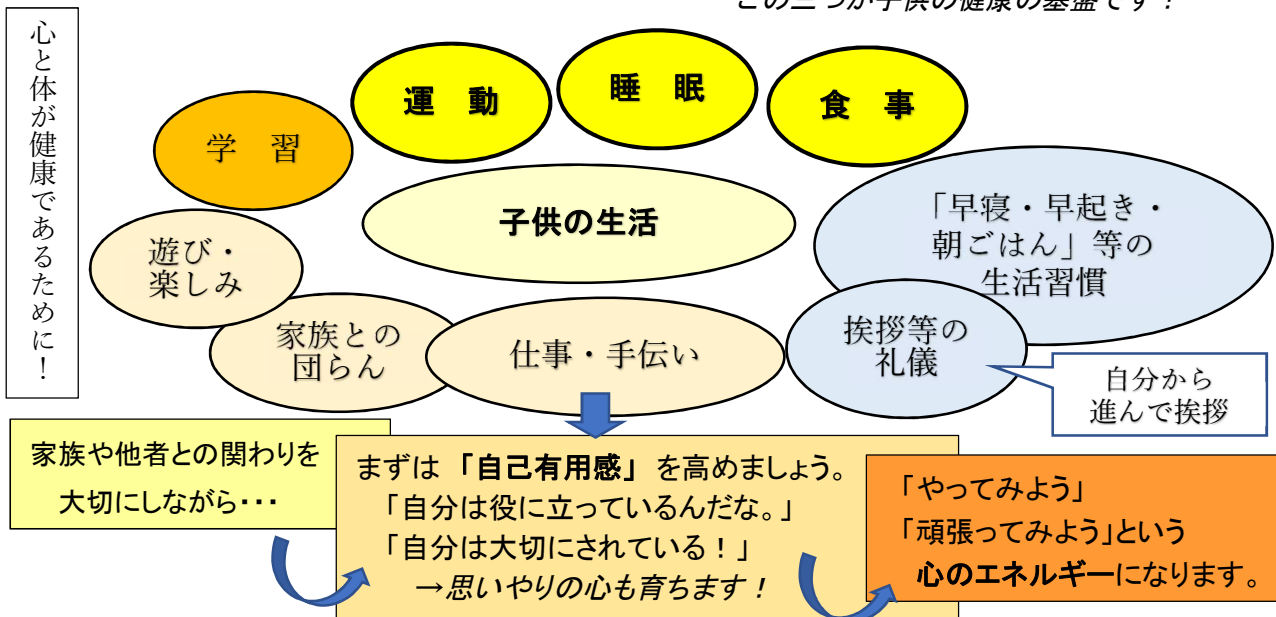
大沢小学校の重点目標 「心と体の健康を意識し、自分の目当てに向かって頑張る子供を育てる」

子供が大きな成長を遂げる時、そこに必ず「自分で考え、決めて、やり通す」という努力があります。大人から言われたからするのではなく、子供自身が「〇〇をしよう」と決めることで、自発的な行動が生まれます。大人の役割は、子供が「〇〇をしよう」と決められるように、スイッチを押すこと、決めたことをやり通せるように励ますことではないでしょうか。

非常に変化の激しい時代を生きていく子供たちが、自分の夢に向かって人生を切り開いていくとき、「心と体が健康であること」が一つの鍵となります。心身共に健康で、自分で目標を決め、達成するために努力することができれば、子供たちは大人の想像を超える成長を見せてくれることでしょう。

子供の生活の要素は様々ありますが・・・

この三つが子供の健康の基盤です！



【目指す子供の姿】

- ・学校や家庭での運動・保健・食に関する生活目標を立て、進んでチャレンジしようとする子
- ・「みんなのためにプラス1！」を合い言葉に、進んで誰かのために役に立とうと、目当てに向かって行動する子

今年度、ご家庭で取り組んでいただきたいことは、次の三つです。

その1 自分の生活リズムについて考え、規則正しく生活しようとする意欲を高めましょう！

「しっかり睡眠をとること」「バランスの良い食事を取ること」「運動すること」、この三つは、子供が健康に生活し、目標に向かって努力する基盤になります。

コロナ下において気になるのは、自宅で過ごす時間の増加の影響なのか、オンラインでゲームをしたり、タブレット等で動画を見たりして過ごす時間が長くなっている子供が増えたということです。それに伴い、睡眠が十分に取れていない、朝に起きられず朝ごはんを食べてこない、授業に集中できない（または眠くてぼんやりする）、やる気が起きないなど、様々な弊害が現れています。

脳の成長が活発な子供の時期は、しっかりと睡眠を取ることがとても大切です。一般的には、小学生の場合、8～10時間のまとまった睡眠が必要と言われています。また、メディア利用の長時間の利用も子供の脳の発達に悪影響があることが分かってきました。

夏休みはお子さんが自分の生活について考える良い機会になります。お子さんと話し合っただき、より良く生活するために「ゲームをしたり、動画を見たりする時間（1時間以内が理想です）」「寝る時刻」「起きる時刻」などを決めて、規則正しい生活が送れるようサポートをお願いします。思春期に入ると大人の言葉は子供の心に届きにくくなるものです。そうなる前に、ルールを守ってメディアを利用できるようにしておくことが大切です。

メディアに触れる時間を減らした分、親子で読書、親子で運動、家族での団らんの時間にするなど、ご家庭で工夫していただければと思います。



その2 手伝いの内容を決め、できたら褒める！

学校では、「みんなのためにプラス1！」を合い言葉に、「明るく楽しい学校にするためには？」と子供たちに考えさせ、実行し、振り返らせる時間を設けていきます。

ご家庭では、ぜひ「家族の一員として、どの仕事を担当するか」をお子さんと話し合い、手伝いの内容を決めていただきたいと思います。そして、大切なのは「できたら褒める！」です。やって当たり前ではなく、決めたことを行えたときには、「助かった。ありがとう！」と認めてあげてください。

その3 進んで挨拶！ まずは大人がお手本です。

保護者の皆様もご存じのとおり、進んで挨拶ができること、時と場に応じた礼儀を身に付けていることは、将来の社会生活において他者との良好な関係を築く糧となります。

学校でも家庭でもまずは大人が手本です。そして、自分から挨拶したときには、これもまた褒めてあげてください。（人間は「どうして〇〇できないんだ」と叱られたときより、「〇〇できてえらいね」と褒められたときの方が、その行動は定着しやすいと科学的に証明されているそうですよ。）

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございます」「すみません」「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶が、自分から進んでできるよう大人が導いていきましょう。



お子さんの生活が、より豊かに充実したものになり、目標に向かって努力しようというやる気を持って、自分を高めていけるようご家庭でのご協力をお願いいたします。